

令和3年度 延岡市立上南方小中学校 学校評価書

学校経営ビジョン

「勤勉」「礼節」「鍛錬」をキーワードとし、安心・安全に十分配慮しながら、心の教育を基本に、児童生徒一人一人の学力や体力の向上、基本的生活習慣の育成に努める。

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果 ○成果 ●課題 ◎方策	自己評価	外部評価	外部評価コメント
学力の向上 【勤勉】	1 ICTを活用し主体的対話的で深い学びを意識した授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研究の研究主題をICT活用と置き、全職員でICTを活用した授業に取り組むことができた。 ● 家庭学習の習慣化については、児童・生徒自ら学ぶ意識と意義を啓発していく必要がある。 ○ 講師派遣事業・夢の教室ふるさと教育推進事業などの取組を通して、キャリアについて考える機会を持たせることができた。 ◎ キャリア教育の視点を生かした発達段階に応じた具体的な指導 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット等の活用はよい取組だと思う。 ○ 家庭学習では、保護者の見届けがしっかりしている家庭もある。保護者と一緒に取り組んでいく必要がある。
	2 保護者との連携による家庭学習の習慣化と見届けの徹底				
	3 主体的な進路選択を目指したキャリア教育の推進				
心の教育の充実 【礼節】	1 道徳教育を基幹とした思いやりや感謝の心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の時間を柱として、教師と共に考える授業を展開することができた。 ○ 毎月のいじめアンケートや毎週行われる生徒指導推進委員会で情報の共有、共通理解を行うことができた。 ○ 児童生徒の自主的な活動により、あいさつや会釈など自主的に行う児童生徒が増えてきた。 ● 自分では気付かずに他人に嫌な思いをさせている児童生徒に対する指導が必要である。 ◎ 言葉の指導と大人が見本を見せる環境づくりとソーシャルスキルトレーニング等を行う場面の設定 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の言葉など受け止め方が違うので、アンケート後の学校の動きを充実させてほしい。
	2 学校いじめ防止基本方針に基づいた指導の徹底				
	3 集団行動や礼法指導の推進				
育基本と体力生活習慣の向上 【鍛錬】	1 全教育活動を通じた「あいさつ」「時間」「無言」「三点固定」の発達段階に応じた指導、推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的に点検週間を設け、実態把握や改善指導に努め、成果が出始めている。 ● 三点固定については、家庭の協力も必要であり、自立・自律へ向けた学校・保護者との連携が必要である。 ○ 長距離走大会やなわとび大会など行事として行い、体力向上に取り組ませることができた。 ● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域との交流ができなかった。 ◎ 総合的な学習の時間の計画の再検討とコミュニティスクール導入に向けた教育課程の編成と実践 	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつは学校外でも素晴らしい。 ○ コロナ禍における地域連携の在り方を考える必要がある中で、形態等を考えながら実施していくことも必要である。
	2 体力向上プランに基づいた授業実践と部活動等と連携した指導の充実				
	3 地域に自信と誇りを持ち、地域貢献への気概を育てる地域教育の推進				

段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する